

# I 調査の概要



## 1 調査の目的

大田区の各行政分野における区民の意向、要望、生活実態を把握するとともに、今後の大田区政の設計や方向性を検討する際の基礎資料とする。

## 2 調査の内容

「大田区の将来像：地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」をコンセプトとして、下記の17テーマの内容について調査を実施した。

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| (1) 定住性               | (10) 国際化推進          |
| (2) 暮らしやすさ            | (11) 産業振興           |
| (3) 児童福祉対策            | (12) 観光             |
| (4) 保健・健康対策           | (13) 自治会等の地域活動について  |
| (5) バリアフリー・ユニバーサルデザイン | (14) 防災対策（ペットの防災含む） |
| (6) 生涯教育の推進           | (15) 緑化推進・省エネ推進     |
| (7) 男女平等の推進           | (16) 清掃・リサイクルの推進    |
| (8) 公園緑地              | (17) 区政への関心と要望      |
| (9) 空港臨海部のまちづくり       |                     |

## 3 調査の設計

- |          |                                                    |
|----------|----------------------------------------------------|
| (1) 調査地域 | 大田区全域                                              |
| (2) 調査対象 | 大田区内に居住する満20歳以上の男女個人                               |
| (3) 標本数  | 2,000人                                             |
| (4) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法                                         |
| (5) 調査方法 | 郵送調査。ただし、回収方法は郵送回収に加え、携帯電話およびパソコンを利用した電子申請からの回答も実施 |
| (6) 調査期間 | 平成24年7月18日～8月5日                                    |
| (7) 調査機関 | 株式会社タイム・エージェント                                     |

## 4 回収の結果

- |           |                               |
|-----------|-------------------------------|
| (1) 回収数   | 1,181人（電子申請123件含む）（回収率 59.1%） |
| (2) 有効回収数 | 1,177人（有効回収率 58.9%）           |

## 5 この報告書の見方

- (1) 図表中のnは該当質問での回答者総数のことである。また、NAは該当質問での無回答率のことである。
- (2) nが30未満の場合はアスタリスク(\*)を記載し、参考値扱いとする。
- (3) 質問に対する回答は1つの場合や、3つまで、あるいは、いくつでもよい場合(複数回答)などがある。複数回答とは、回答が2つ以上ありうるという意味であるため、比率の合計は100%を超える場合がある。
- (4) 百分比はnを100%として算出し、小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示している。このため、百分比の合計が100%に満たない場合や上回る場合がある。
- (5) 図表によっては「無回答」の表示を省略する場合がある。このため、全体のn数は性別不詳や年齢不詳などを含む。よって、全体のn数と性別などの合計値は必ずしも一致しない。  
(例：[全体のn数(1,177)] ≠ [男性(計)(493) + 女性(計)(658) = 1,151])
- (6) 数表やグラフの回答選択肢表記は、コンピュータソフトの都合上省略しているところがある。

## 6 標本誤差について

この調査の基本誤差(サンプル誤差)はおおよそ下記の表のとおりである。基本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基数(n)、及び②回答の比率(P)によって異なる。

$$b=2\sqrt{2\times\frac{N-n}{N-1}\times\frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差 (二段抽出の場合)

N = 母集団数

n = 比率算出の基数 (サンプル数)

P = 回答の比率

(注) 後にかかげる表は  $\frac{N-n}{N-1} \div 1$  として算出した。本調査は層化を行っているので誤差はこの表よりやや小さくなる。

たとえば、回答者総数(1,177人)を100%とする比率について、ある質問の回答率が50%

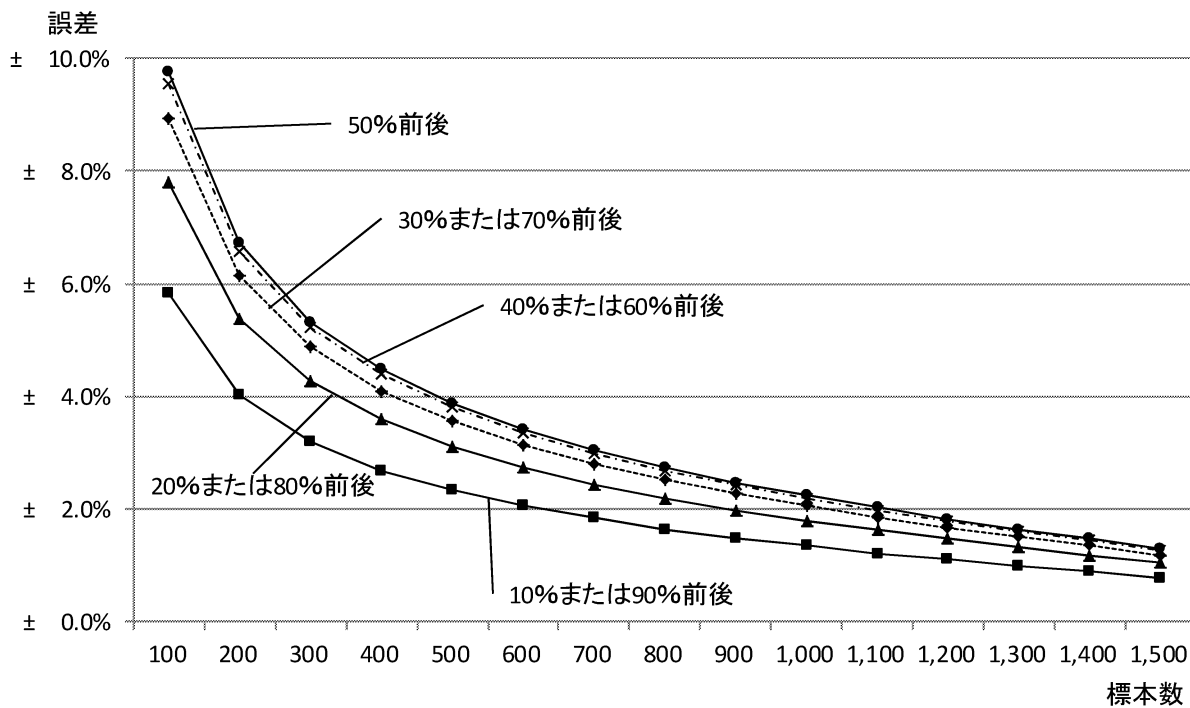
であった場合の標本誤差を計算すると、 $b=2\sqrt{2\times\frac{0.5\times(1-0.5)}{1,177}} = \pm 2.9\%$  となる。

つまり、回答者総数(1,177人)を100%とする比率について、ある質問の回答率が50%の時、大田区民(満20歳以上の男女)の真の値は47.1%~52.9%の間にあると考えられる。ただし、信頼度は95%であるので、95%の確率で間違いないと判断できるという意味である。

nとPを上記の式に代入すれば、必要な標本誤差はすべて計算できる。

標本誤差早見表は下記の図のとおりである。

図1 標本誤差早見表（信頼度 95%）



次のページより、本調査における標本誤差の一覧を掲載する。

図2 本調査における標本誤差一覧（信頼度 95%）

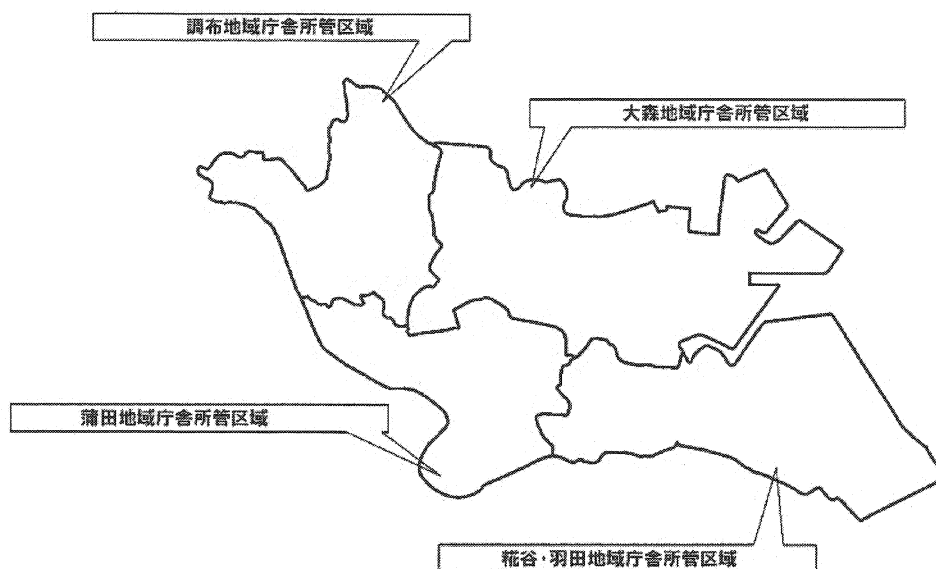
基数 (n)		回答の比率 (P)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
全体		1,177	±2.5%	±3.3%	±3.8%	±4.0%	±4.1%
地域庁舎 管内別	大森地域庁舎	352	±4.5%	±6.0%	±6.9%	±7.4%	±7.5%
	調布地域庁舎	303	±4.9%	±6.5%	±7.4%	±8.0%	±8.1%
	蒲田地域庁舎	351	±4.5%	±6.0%	±6.9%	±7.4%	±7.5%
	糀谷・羽田地域庁舎	133	±7.4%	±9.8%	±11.2%	±12.0%	±12.3%
	無回答	38	±13.8%	±18.4%	±21.0%	±22.5%	±22.9%
性別	男性	493	±3.8%	±5.1%	±5.8%	±6.2%	±6.4%
	女性	658	±3.3%	±4.4%	±5.1%	±5.4%	±5.5%
	無回答	26	±16.6%	±22.2%	±25.4%	±27.2%	±27.7%
年代	20歳代	105	±8.3%	±11.0%	±12.6%	±13.5%	±13.8%
	30歳代	191	±6.1%	±8.2%	±9.4%	±10.0%	±10.2%
	40歳代	221	±5.7%	±7.6%	±8.7%	±9.3%	±9.5%
	50歳代	205	±5.9%	±7.9%	±9.1%	±9.7%	±9.9%
	60歳代	202	±6.0%	±8.0%	±9.1%	±9.7%	±10.0%
	70歳代以上	237	±5.5%	±7.3%	±8.4%	±9.0%	±9.2%
	無回答	16	±21.2%	±28.3%	±32.4%	±34.6%	±35.4%
性別× 年代	男性20歳代	44	±12.8%	±17.1%	±19.5%	±20.9%	±21.3%
	男性30歳代	69	±10.2%	±13.6%	±15.6%	±16.7%	±17.0%
	男性40歳代	104	±8.3%	±11.1%	±12.7%	±13.6%	±13.9%
	男性50歳代	88	±9.0%	±12.1%	±13.8%	±14.8%	±15.1%
	男性60歳代	95	±8.7%	±11.6%	±13.3%	±14.2%	±14.5%
	男性70歳代以上	92	±8.8%	±11.8%	±13.5%	±14.4%	±14.7%
	女性20歳代	61	±10.9%	±14.5%	±16.6%	±17.7%	±18.1%
	女性30歳代	121	±7.7%	±10.3%	±11.8%	±12.6%	±12.9%
	女性40歳代	116	±7.9%	±10.5%	±12.0%	±12.9%	±13.1%
	女性50歳代	115	±7.9%	±10.6%	±12.1%	±12.9%	±13.2%
	女性60歳代	105	±8.3%	±11.0%	±12.6%	±13.5%	±13.8%
	女性70歳代以上	139	±7.2%	±9.6%	±11.0%	±11.8%	±12.0%
	無回答	9	±28.3%	±37.7%	±43.2%	±46.2%	±47.1%
職業	自営業 計	93	±8.8%	±11.7%	±13.4%	±14.4%	±14.7%
	勤め人 計	558	±3.6%	±4.8%	±5.5%	±5.9%	±6.0%
	無職 計	408	±4.2%	±5.6%	±6.4%	±6.9%	±7.0%
	無回答	118	±7.8%	±10.4%	±11.9%	±12.8%	±13.0%
ライフ ステージ	独身 計	335	±4.6%	±6.2%	±7.1%	±7.6%	±7.7%
	子供のいない夫婦 計	174	±6.4%	±8.6%	±9.8%	±10.5%	±10.7%
	子供のいる夫婦 計	587	±3.5%	±4.7%	±5.3%	±5.7%	±5.8%
	無回答	81	±9.4%	±12.6%	±14.4%	±15.4%	±15.7%

## 7 調査対象者の抽出

- (1) 母集団 大田区内に在住する満 20 歳以上の男女個人
- (2) 抽出台帳 大田区住民基本台帳
- (3) 標本数 2,000
- (4) 調査地点数 200 地点
- (5) 抽出法 層化二段無作為抽出法
- (6) 地域区分 区内を、4 か所ある地域庁舎がそれぞれ所管する区域を単位として次の 4 地区に分類し、それぞれを層とした。

地域庁舎	所管地域
大森地域庁舎	大森東特別出張所管内の一部、大森西特別出張所管内、入新井特別出張所管内、馬込特別出張所管内、池上特別出張所管内、新井宿特別出張所管内
調布地域庁舎	嶺町特別出張所管内、田園調布特別出張所管内、鵜の木特別出張所管内、久が原特別出張所管内、雪谷特別出張所管内、千束特別出張所管内
蒲田地域庁舎	六郷特別出張所管内、矢口特別出張所管内、蒲田西特別出張所管内、蒲田東特別出張所管内
糎谷・羽田地域庁舎	大森東特別出張所管内の一部、糎谷特別出張所管内、羽田特別出張所管内

図3 地域庁舎所管区域図



- (7) 地点数の配分 1 地点は 10 標本になるように各地域（層）における 20 歳以上の人口（平成 24 年 1 月 1 日現在）に応じて地点を比例配分した。（合計 200 地点）
- (8) 地点抽出 各地域ごとに地点数に応じた対象者人口インターバルを定め、各地点のスタート番号を無作為系統抽出した。
- (9) 対象者抽出 抽出された各地点のスタート点より、1 地点 10 標本ずつのサンプルを無作為系統抽出した。

以上の結果、地域別の地点数、標本数及び完了数は次のとおりである。

地域庁舎	20歳以上人口（構成比）	地点数	標本数	有効回収数（率）
大森地域庁舎	194,741 (33.9%)	67	670	352 (52.5%)
調布地域庁舎	148,465 (25.8%)	51	510	303 (59.4%)
蒲田地域庁舎	170,178 (29.6%)	60	600	351 (58.5%)
糀谷・羽田地域庁舎	61,116 (10.6%)	22	220	133 (60.5%)
無回答				38
合計	574,500 (100.0%)	200	2,000	1,177 (58.9%)